



『ため池』とは…

降水量が少なく、流域の大きな河川に恵まれない地域などで、農業用水を確保するために水を溜め、必要なときに取水できるように、人工的に造った池のことです。県内には1,800ヶ所余りのため池があり、古くは江戸時代以前に造られたものも数多くあります。

その利用目的は、水量の確保のほか、冷たい雪どけ水を一時蓄え、水を温めることにより米の収穫量を増やすためのものや、山からの水に含まれる鉄分を沈殿させて稲の生育障害を防ぐものもあります。

また、多様な生態系を育む水辺空間を形成し、豊かな景観を織りなし、地域の人々や観光客にも親しまれています。

ため池の歴史や多様な役割、保全の必要性を国民の皆様に理解いただく契機とするため、農林水産省が、全国100ヶ所を「ため池百選」として選定し、県内では5ヶ所が選ばれました（平成22年3月選定）。



【塩田平のため池群】
上田市



【御射鹿池】
茅野市



【荒神山ため池（たつの海）】
辰野町



【千人塚城ヶ池】
飯島町



【菅大平温水ため池（あやめ池）】
木祖村